

発行人 今村久美子

〒191-0041日野市南平2-56-10

Tel&Fax 042-591-0248

E-mail: csc-hino@angel.email.ne.jp

http://www.angel-hino.com/

自主事業
環境連続講座

親子で「さあ、自然の中へ」
「身近な自然に繰り出そう」より



浅川で水遊び (8月22日)



鎮守の森でどろんこすもう (9月25日)



スローフード・クッキング (8月3日)



昆虫たちの不思議発見 (9月12日)



親子で自然の中へでかけよう (7月25日)



ネイチャー・アート (9月11日)

ごあいさつ

特定非営利活動法人市民サポートセンター日野

事務局長 下重喜代

今夏の異常な猛暑、そして猛威をふるった台風、浅間山の噴火や新潟の大地震といった一連の動きは、私たちに地球も大きな生命体であることを気付かせてくれています。一方で、都市化が進み、自然と乖離した私たちの暮らしは様々な場面でひずみを引起しています。

特に子どもたちをとりまく環境は悪化するばかりのように思えます。ひのっ子がのびのびと育つように、子育てが楽しくなるような環境設定をすることは、私たちのNPOの大きな仕事の一つです。

その一環として日野市から委託されて展開している、ファミリー・サポート・センター事業は、登録会員も増え(760名/10月末現在)順調に活動が伸びています。また、自主事業として、自然の中で元気に遊ぶことを通して、子どもの体力や感性を育て、好奇心や行動力を伸ばそうと、連続講座・親子で「さあ、自然の中へ」を6回に亘り開催(4頁参照)してきました。このような試みを通して、子どもたちが自然の

中で遊ぶことによって貴重な原体験をつくり、身近な自然の大切さや、自然の中で親子が解放される喜びを参加者に体感していただくことができました。

この一連の実績は、日野市が文部科学省から指定を受けて実施している「新しい幼児教育のあり方に関する調査研究」に、私たちのNPOも環境学習(自然遊び)の分野で協力することに繋がってきています。

また、厚生労働省が施行した「次世代育成支援対策法」を受けて策定している日野市の行動計画「ひのっ子すくすくプラン」の市民ワークショップにも参加しています。こうしてこのNPOが次世代育成のために貢献し、まちを変える現場に立ち会えることは大きな喜びです。この日野のまちになくはないNPOとして認められるよう精一杯努めてまいりますので、今後とも皆様のお力添えをよろしくお願い致します。



●第1回日野市市民活動(NPO)企画提案事業に選ばれる！ シンポジウム開催 2005年2月13日(日)

日野市のNPO支援事業の一つとして、今年度から始まった自主企画コンペ(経費の四分の三補助)に応募したところ、NPO市民サポートセンター日野の企画した下記シンポジウムが、選考を通りました。えうご期待！ 会員の皆様のご参加をお待ちしています。

シンポジウム 日野市民から地球市民へ

— 国連持続可能な開発のための教育の10年へ向けて —

豊かな自然を保全し、次世代がのびのび育ち、誰もが自分らしさを発揮できる。そんなまちを目指し、行政、企業、教育機関、NGOといった地域のさまざまなセクターと、取り組むべき課題を共有しながら、持続可能なまちの構成員としての責務を学び、2005年から始まる「国連持続可能な開発のための教育の10年」への助走とします。

日 時：2005年2月13日(日) 13:30~16:30
(受付開始13:00)

会 場：多摩平の森ふれあい館3階集会室6

参加費：300円(当NPO会員、学生は無料)

申込み：Tel & Fax **042-583-1528**までご連絡を
(保育もあります。要予約)

主 催：特定非営利活動法人市民サポートセンター日野

後 援：日野ケーブルテレビ、アサヒタウンズ

企画協賛：株式会社リコー

第1部 基調講演

「国連持続可能な開発のための教育の10年」
のスタートに当って

阿部 治 立教大学教授、国連持続可能な開発
のための教育の10年推進会議代表

2002年に開催された地球環境会議(ヨハネスブルグ)にて、国内NGOを組織し、政府機関を動かし、日本政府によって「国連持続可能な開発のための教育の10年」の原案を提案したキーパーソン。

2005年から始まるこの10年にむけて、数十の国内NGOをまとめ、「国連持続可能な開発のための教育の10年推進会議」代表として国際機関と連携をとりながら、活動を推進するリーダー。

第2部 自然を歌う

ギター弾き語り

きたに まさみち 歌のメッセージャー

週末を使って全国のNPO活動支援に行動する歌のメッセージャー。

東京都職員の顔をもつ。(総務局 IT推進室 情報企画担当部長)

第3部 パネルディスカッション

17万人都市日野の持続可能性「現状と課題」

萱嶋 信 日野市環境共生部長

いのちの循環 - 子育て、老後が楽しみなまちに -

中村敏子 NPO日野たすけあいワーカーズ
Beすけっと元理事長

生活クラブ生協によって10年前に立ち上げられた「Beすけっと」の設立メンバーであり、初代代表を務める。日野市次世代育成対策行動計画「ひのっすくすくプラン」の市民ワークショップメンバーとしても活躍。

企業の社会的責任 - 地域との協働 -

飯田富美子 株式会社環境管理センター
常務監査役

会社設立メンバーとして会社発展のために貢献。女性が活躍しやすい企業環境を作り上げると共に、地域に開かれた社会貢献のあり方を模索。

持続可能な社会への道筋

- スウェーデンの先進事例を日本にどう生かす -

高見幸子 国際環境NGO
ナチュラル・ステップ・ジャパン代表

世界的にその活動が目目される国際環境NGOの日本代表として、持続可能な社会の構築のために精力的に講演、執筆などで活躍。

スウェーデン在住30年の経験を通してスウェーデンの福祉や男女平等、幼児教育の施策にも精通。

(コーディネーター：NPO市民サポートセンター日野)

通信「ネーミング」募集



この通信が会員の皆様に親しまれるよう、名称を募集します。採用された方には、「Cafe Green」のコーヒー回数券(11枚)をプレゼントします。

事務局としては「いきいき」、「わいわい」、「ゆうゆう」、「Yuyu」、「けやき」、「ふれあい」、「なごみ」などが候補にあがっています。奮ってご応募ください。





「多摩平の森ふれあい館」より

日野市と都市基盤整備公団（現・都市機構）の合築により今春4月に完成した「多摩平の森ふれあい館」は、市民の皆様へ愛される施設としてオープンして7ヶ月が経過しました。

館の総合受付案内業務を当NPOで受託しており、朝の7時から夜の10時まで1日3交代で13人のサポーターの皆さんがシフトを組んで詰めて下さっています。

最近では、集会室の利用状況も満室になることも多くなり、活発な市民活動の様子が伺えます。

受付を担当して 遠藤洋子

週2回受付を担当しています。まさか受付に座ることになるとは夢にも思わず、ふれあい館が出来上がっていくのを毎日通りすがりに眺めていました。

人に接し、責任を伴う仕事は、私に社会とのつながりや適度な緊張感を実感させてくれます。基本的に担当曜日が決まっているので、定期的にご利用されるお客様とはすっかり顔なじみになり、お休みになると淋しく思ったりもします。また夜間のご利用が少ないと、静かな館内はものたりなく、もっともっと利用してほしいと願いたくなります。

NPO事務局と私たちNPOのサポーター13人の受付仲間をつなぐ連絡ノートは早くも2冊目になりました。日々の出来事が連絡事項と共に書き綴られ、自分のいない間のこともよく判り、読むのが楽しみです。

建物の構造上、受付の場所からは二つの玄関から入ってこられる方が見えないので残念ですが、ふれあい館が皆さまに愛され、居心地の良い場所となるように、「親切、丁寧、ミスをしない」をモットーに、いい笑顔でお客様に接していきたいと思っています。



副理事長早川裕子さんが「英会話サロン」を開講

当NPOの副理事長早川さんが海外生活や英語教師の経験を生かし、多摩平の森ふれあい館集会室を会場にして「役に立つおもしろ英会話」を毎水曜日午後16時に開講して好評です。

会費：1回千円 / 問合せ・申込み先：tel&fax 042-593-4616（早川裕子）



3階コミュニティ・カフェ「Cafe Green」月曜休業に

『多摩らび』2004年秋号に公共施設のカフェのニューウェーブとして紹介されました。

当カフェは、今までにも読売新聞、日野CATV、FM多摩にとりあげられ、高い評価を得ていますが、営業的にはまだまだヨチヨチ歩きです。みなさまのご来店を心よりお待ちしております。窓の外にひろがるケヤキやイチヨウの紅葉を眺めながら、香り高いコーヒーをお楽しみください。運がよければ枝の間を移動するコゲラ（キツツキの間）やシジウカラの野鳥たちに出逢えることでしょう。

尚、11月から営業時間が変更（火曜日～日曜日の11:30～17:00）となり、月曜日は休業となりました。どうぞよろしくお願い致します。



秋冬限定新メニュー / ミルクティ（ビスコッティ付き）300円

新選組フェスティバル盛況のうちに終了

日野市を挙げて取り組んできた大イベント新選組フェスティバルは10月30日をもって終了しました。当NPOでも「日野宿本陣」の受付案内業務を日野市から受託し、10名のサポーターによってシフトを組み、無休体制の「おもてなしの精神」で取り組みました。おかげさまで早々と目標来館者数を達成し、予想をはるかに上回る46,997人をお迎えし、最終日まで来館者の絶えることのない人気会場となりました。

現在は改修工事のために休館していますが、来春には一層充実した資料の公開展示が期待されます。

日本の近代化のとは口で、武士や農民といった差別のない、公正・公平な時代を創るために、我が身を捨てて闘った郷土の新選組志士たちのその熱い自治の行動は、その後の自由民権運動に影響を与え、私たちのNPOにも「自分らしく生きることが出来る男女平等社会の実現、平和で緑ゆたかな持続可能なまちづくり」へ向けての力強いアクションに受け継がれているといえましょう。

女性も男性も自分らしさを発揮できる
次世代がのびのびと育つ、
持続可能なそんなまちをつくるために
市民の皆様と手をつなぎながら、今後も頑張ります。

あなたの力をかしてください！ サポーター募集

当NPOでは、活動のサポート（手助け）をしてくださる方を募集しています。これから地域での様々な貢献活動が増えていくに従い、会員の皆さんの力が是非必要です。

活動の内容としては次の通りです。

- * 簡単な入力作業
- * ニュースの編集や発送作業
- * イベント企画や講座開催時のサポーター（受付、案内）
- * ホームページの更新

保育士、幼稚園教諭、看護師の資格をお持ちの方
子育て支援の分野などで、会員の皆様と一緒に資格やキャリアを生かす活動を展開していきたいと考えています。まずはサポーターの登録をしていただけますよう、よろしくお願い致します。

TEL 042-583-1528までご連絡をいただけましたら、登録用紙をお送りいたします。ご連絡をお待ちしています。

会員募集

NPO市民サポートセンター日野が活発な活動を展開するためには、NPOの趣旨に賛同し、活動を支援して下さる皆さまのサポートなしには成り立ちません。ぜひ、会員の輪を広げるためにご協力くださいますようお願いいたします。また、寄付も常時受け付けています。

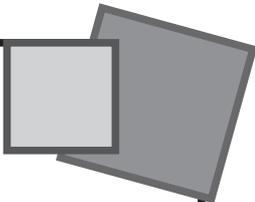
- 一般会員（活動に参加して下さるひと） 1,000円
- 賛助会員（活動を支援して下さるひと） 3,000円（1口）
- 法人会員（活動を支援して下さる法人） 30,000円（1口）
- 運営会員（運営に積極的にかかわるひと） 10,000円
- 入会金（一般会員、運営会員のみ1,000円）
- 会員特典 年3回の会報をお届けし、主催講座やイベント等にご優待します。
- 郵便振込口座番号 00180-0-612689
- 加入者名 特定非営利活動法人市民サポートセンター日野





環境連続講座、 最終段階に

7月より、親子向け連続講座「親子で「さあ、自然の中へ」(6回)」と、一般市民向け連続講座「身近な自然に繰り出そう」(6回)を開催してきました。里山で援農・スローフードクッキング、川や用水の生きもの観察、葉っぱを集めてアート作品作りなど、毎回その道の達人を講師にお迎えして、身近な自然の中で、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚に訴えながら驚きの体験を重ねています。



環境連続講座 参加者の声から

「浅川で水遊び」8月22日(日)

浅川で生きもの観察をして採れた魚の数にビックリしました。ミズカマキリやヌマエビ、ナマズの子などもいてとても驚きましたが、一番驚いたのは外来種のブルーギルがいたことです。外来種がいるのはいけないと思うので、外来種がいない川にしたいです。今回の観察で多くの知らなかったことが分かり、とても楽しかったです。

(原優斗/中1)

浅川で水中生物を採りました。橋の上から見るとコイしかみえなかったけど、川の中に入ってよく探してみると、ミズカマキリやドジョウ、小魚などが採れて、生きものがいっぱいいることがわかりました。

(倉田慎也/中1)

「スウェーデンに学ぶ 持続可能な社会」8月29日(日)

スウェーデン社会が共有する持続可能な社会を創るための四つのシステム条件(地殻から取り出した物質が生物圏に増え続けられない 人工的に作られた物質が生物圏に増え続けられない 自然が物理的に劣化され続けられない 人々のニーズが、世界中で満たされている)を知って体が震えるような感動を覚えました。日本では江戸時代の例を持ち出すまでもなく、長い間、環境と調和して暮らしてきた実績があります。方向性と明確なビジョンさえ決まれば、動きは早いと思います。

(川那部真)

幼児から優れた環境教育を実施されているスウェーデンのお話たいへん参考になりました。日本の環境教育の不甲斐なさ、国政の不充分さをどうしたらよいのか、というフロアーからの質問に、「大丈夫です。まず、市民の活動から始めましょう、ボトム

アップで行動を進めれば、日本はまだ大丈夫」というまとめは心強かった。

(北野日出男)

「鎮守の森でどろんこすもう」 9月25日(土)

スポーツは挨拶で始まり、挨拶で終わる。子ども相撲も挨拶がきれいに出来た子は勝っても負けても気持ちが良いです。挨拶は「おねがいします」、「ありがとうございます」と言って頭を下げ、礼をする。土俵で投げたり、投げられたりすると痛いと感じる。投げた子は起こしてやる。ここで相手を思う気持ちを覚えるのです。相撲をすることで幼児から六年生までにいろいろなことを知り、覚え、挨拶が出来、痛みを知り、思いやる心を覚えて中学校にあがっていきます。

(宮村好勝/子ども相撲世話人)

らいねん、おまつりのおすもうがやっぱります。(やまだとしき/5歳) たくさん稽古をつけてもらい、すもうのおもしろさがわかってきたようです。またの企画を楽しみにしています。(山田利輝の母)

「秋たけなわ植物たちの くらしの工夫と地層」

11月14日(日)

多摩テックに集合してから最初に、八王子市堀の内田んぼがたくさんある里山に行きました。そこには古代の地層がみられる崖があって、バウムクーヘンのようなしまの柄だったので思わずよだれが出てしまいました。その地層は、150万年位前に海の底だったところが盛り上がり陸になり、その上に泥や砂が交互に積もってバウムクーヘンのような地層になったそうです。一番下の層には海の生物、貝が化石になっていまでもあるということを知りました。ぼくは化石を採りたいと思って、家からピン入れ物とシャベルを持っていったのに、今日はここで採らな

いといわれガッカリしました。

次にどンドン山の奥に入って行き、ぼくの背丈より高いアズマネザサのヤブの中を通り抜け、平山城址公園の雑木林に入りました。そこから石がごろごろしている崖に出ると、そこはなんと、昔、川の底だったところでした。ぼくは久しぶりに外に出て、山に登り、地層のことをいろいろ教えてもらったり、植物の種のことや、野草の名前を教えてもらったりして、いい経験をしました。今度は化石採りをしたいです。

(堀耕介/中1)

「多摩地域の日野は、地球の窓と言っているくらい面白い地層が残っているんですよ」という赤松陽さん。前日にはお連れ合いさんを動員して藪を刈り、観察路を整備してくださいました。次々に案内される古代の海の地層、古相模川の痕跡が残る地層に一同、目を見張り、多摩丘陵に位置する眺望の良い平山の尾根から、丘陵や段丘、川を見渡しては、地球の悠久の歴史に、ふるさと日野の地形の成り立ちに思いを馳せたのでした。

植物の生存戦略について、実物にふれながらの杉浦忠機さんの解説は、知恵と工夫に満ちた自然界の営みが実際に見てとれ、興味はつきませんでした。

今回は日野自然を守る会・会長の飯島利三さんも駆けつけてくださり、行く先々で自然をテーマに話題は尽きず、参加者からの質問も多く、予定の時間を大幅にオーバーしました。最後の浅川平山橋下流右岸、古代の貝がたくさん観察できる現場では、一同、去り難く、またの機会を作りましょうと再会を約束しました。

この一連の連続講座を通して、日野の身近な自然が貴重なかけがえのないものであり、次世代にしっかり残していくことの重要性を改めて認識したことでした。2005年から「国連持続可能な開発のための教育の10年」が始まり、日野市でも環境学習の本格的な取り組みが待たれますが、子どもたちの学習の場、つまりフィールド・ミュージアムとしても、一連の環境講座で取り上げたような身近な自然を残していくことに、市民として知恵を絞りたいと思います。(事務局)

編集後記

早くもクリスマスの飾りつけが見られる季節ですが、新潟中越地震被災者の皆様のことが心配です。サフランの球根をたくさんプレゼントくださった「エムシード」さんの協賛のもと、「多摩平自治会」、「NPO日野たすけあいワーカーズBeすけっと」と協力して、バザー売り上げの中から、被災者の皆様に義援金をお送りすることができました。地域や組織をこえて連帯できたことを嬉しく思います。一日も早い復興を祈ります。(KS)

これから開催される環境連続講座 (最終回)

11月28日(日) 小雨決行。飲み物、帽子、歩きやすい靴・服装、あったら双眼鏡持参でご参加ください。

「数万キロ飛んできた冬鳥たちのいきざま」

講師：川那部 真(人と自然の環境研究所)
集合：モノレール万願寺駅改札口 10:00
解散：京王線百草園12:00(予定)
参加申込み先：TEL & FAX 042-583-1528
締切：11月25日
当NPOの会員は参加費(500円)が無料です。
奮ってご参加を!



古紙配合率100%再生紙を使用しています
石版印刷を含まないインキを使用しています